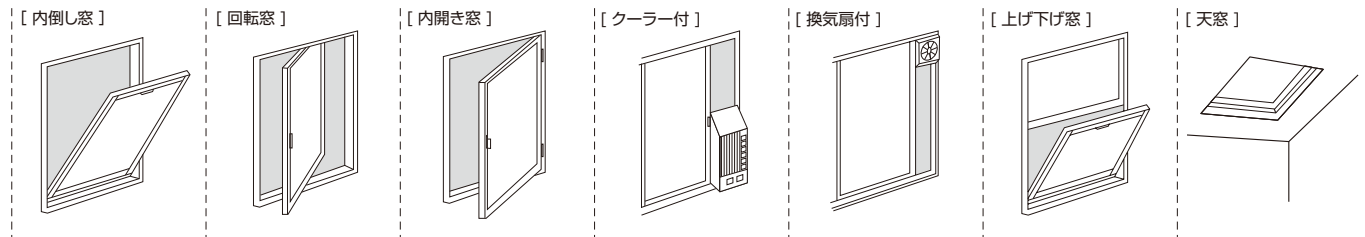


注文・施工前のご注意

【既存外窓の種類の確認】

● 下記のような既存外窓タイプには、MOKUサッシを施工することができません。



【開口寸法の採寸の仕方】

● 内窓を取り付ける開口寸法を採寸してください。

W、Hともに3カ所採寸し寸法差が3mm以内であることを確認してください。
また3カ所採寸した最小値をW、H寸法としてください。

※ 発注した寸法が実際の開口最少寸法よりも大きかった場合、施工後に枠材が波打つおそれがあります。

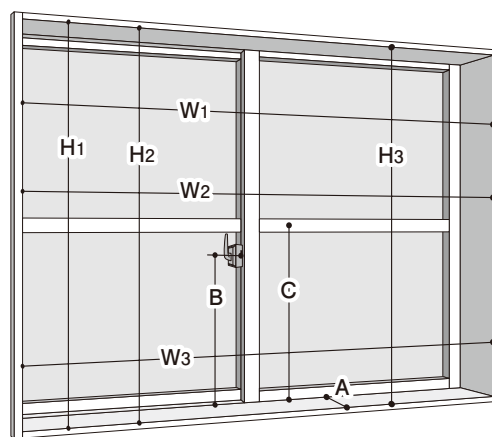
※ 発注した寸法が実際の開口最少寸法よりも小さかった場合、障子のガタつき、脱落が生じたり、気密性能が低下してしまうおそれがあります。

※ 開口寸法は正確に採寸し、寸法に差が生じた場合は開口の修正などをおこなってください。
また、隙間などが気になる場合はシーリング材などを使用して充填してください。

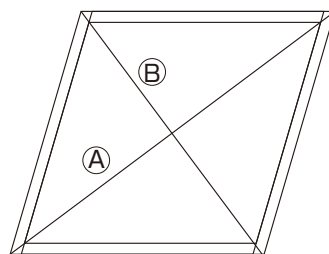
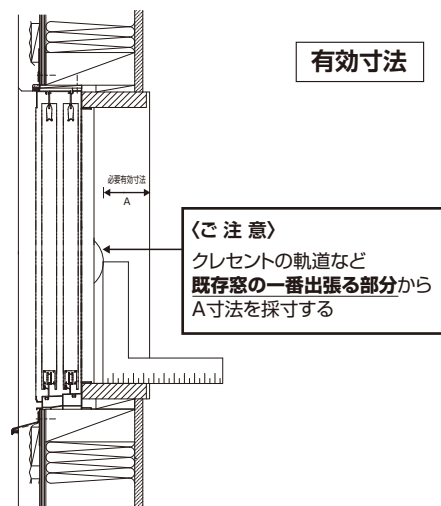
A寸法：既存窓枠の出幅(奥行)寸法

B寸法：既存窓枠の上端から、クレセントの中心までの寸法

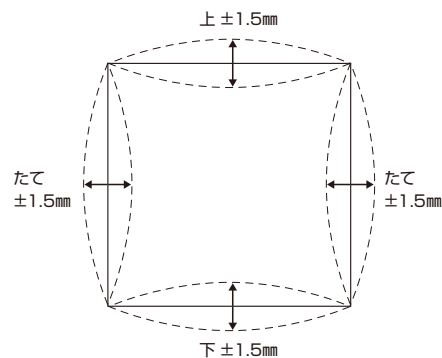
C寸法：既存窓枠の上端から、中棧の中心までの寸法



【既存窓枠の必要有効寸法】



①と②の対角寸法の差が3mm以内であることを確認してください。



上下左右のたわみ寸法が各1.5mm以内であることを確認してください。

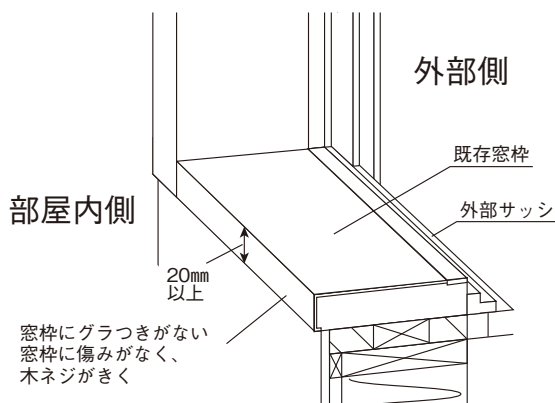
● 既存窓枠の出幅(奥行) 必要寸法をご確認ください。 ※採寸の仕方A寸法

必要寸法(mm) 全窓タイプ	必要寸法に足りない場合	その他
82mm以上	52mm~81mm ⇒ ぶかし枠30 32mm~51mm ⇒ ぶかし枠50 12mm~31mm ⇒ ぶかし枠70	外窓のクレセント・レバーハンドル等が内窓に当たらないように取り付けてください。 (クレセント回転軌道や、外窓の内押し合せ枠の見込み寸法によっては既存窓枠の必要寸法が変わります。)

〈ご注意〉

- MOKUサッシは吹き抜け窓など、内窓としての用途以外では使用しないでください。
- MOKUサッシは木質製品ですので、浴室など高温多湿の場所には使用しないでください。

[ふかし枠施工について]

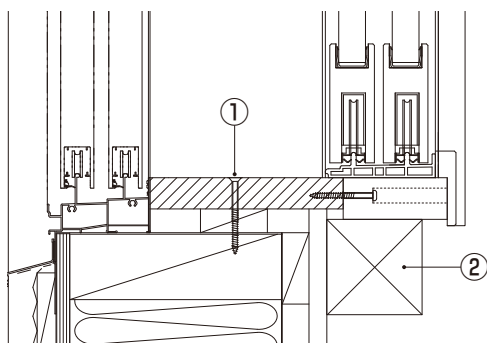


- ① 既存窓枠の厚みが20mm以上ある。
- ② 既存窓枠にグラつきがなく、しっかりと固定されている。
- ③ 既存窓枠に傷みがなく、木ネジがきく。
- ④ 障子を吊り込みした際、下枠垂れ下がりが2mm以内である。

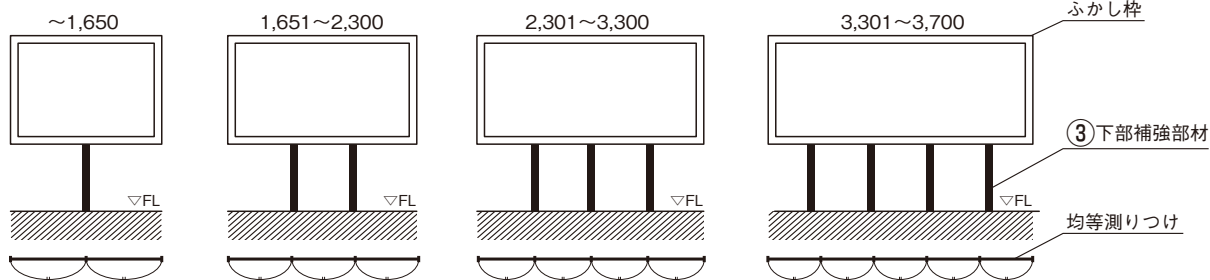
上記状態を満たしていない場合、内窓の脱落などの原因になるおそれがあるため補強例を参考に既存枠の補強をおこなってください。

[補強例] ※下記納まり図は、「ふかし枠+化粧額縁」の場合です。

●(納まり図例)引違い窓：窓タイプ 2枚 ふかし枠70mm



●内法寸法



① 既存窓枠の補強

木ネジで既存窓枠を固定させてください。このとき、必ず木ネジが躯体まで届くようにしてください。

※既存窓枠にグラつきなどがある場合のみ。

② ふかし枠を使用時の下端補強

中連窓、テラスにふかし枠、50mm・70mmを使用する場合は、荷重によってふかし枠が破損しないように、ふかし枠の下端に補強材(現場調達)を施工してください。

※ふかし枠50mm・70mmを使用の場合は②の補強は必須です。

③ ふかし枠下部補強部材

マンションや戸建ての2階バルコニー入口は“立ち上がりのある掃き出し窓”になり、ここにふかし枠を使用する場合は4方枠となるため、下部の強度を補強する下部補強部材をオプションで追加販売致します。また、腰窓のふかし枠下部の補強にも使用することができます。

1) ふかし枠取り付け後、下部補強部材を取り付けます。

2) 下部補強部材の取り付け本数は、下図を参照してください。

製品寸法はL=2,000mmです。取り付け位置のFL~ふかし枠の下面までを採寸し、ふかし枠補強材をカットしてください。

[カーテンレールを取り付ける場合]

カーテンレールを取り付ける場合、横用ふかし枠、下枠同様に上枠にも荷重がかかります。カーテンレールを取り付けの際は上枠においても同様の補強を施してください。

[内窓用ブラインドを取り付ける前に]

内窓用ブラインドを取付ける前に、ブラインドの取付けスペースが確保できているかをご確認ください。

※取付けスペースは29mm以上必要になります。窓枠間にブラインドに当るものがないことを確認してください。

※取り付けスペースが小さく、取付けできない場合は、ふかし枠等により、スペースを確保してください。

